



































チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念が明文化され、経営目標は月1回の販促会議などの機会を通じて従業員に説明され、共有している ・従業員は、会社のあるべき姿の実現に向け、組織を超えて協力し合い、新しい手法に挑戦する文化がある								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の誓約書を交わし、会議や朝礼などでも法令遵守の重要性を従業員に向けて発信している ・朝礼などで事件を引き合いに従業員に対して法令遵守の啓発に取り組んでいる (販売時の説明に嘘が無いこと、預り金の適切な管理、交通ルールの遵守など)																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・経営幹部が経営者研修会や商工会や取引先主催のコンプライアンス研修に参加し、研修で学んだ内容を会議や朝礼などで従業員に伝えコンプライアンスの意識を高めるようにしている。 ・公正取引委員会のパンフレットを活用した社内研修会を行い、不正競争の禁止事項、注意事項等の確認周知を続けている										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として代表取締役を任命している ・小売業として、商品の良し悪しが購入されたお客様の満足度やお仕事の成果に影響することを理解しており、そのため仕入れ、販売、配送のそれぞれの担当者が社内コミュニケーションを密にしている																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・経営者が経営者研修会や弁理士主催の研修会、商工会や取引先主催のコンプライアンス研修に参加している ・自社に必要な工業所有権等は自ら取得し、他社の特許、商標、著作権などの侵害排除については、社内研修や会議、朝礼などで提示ポスターや配布チラシへのイラストや記事等の無断使用の禁止を言い続けている								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・情報漏洩事故に対しては会議や朝礼などで事件・事故などを引き合いに従業員に個人情報の保護の徹底をはかっている ・個人情報法の改正や情報セキュリティに関して勉強会を推奨している																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客の声(特に苦情)を大事にしており、取引先とも月次、週次で情報交換を定期的の実施している ・顧客の声を経営層含めて全員で共有している																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後進育成のカリキュラムを作り、常時バージョンアップしている ・事業拡大のためクラウドファンディング、海外向け販売にチャレンジしている								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17


















チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている ・社長自ら従業員の普段の態度を観察し、いじめやハラスメントがないか常に監視している				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生に対する啓蒙を実施し、改善提案が有れば従業員と一緒に協議しすぐに手を打ち、協議した結果内容は従業員に共有している ・メンタルヘルス(心の健康)を確保するために、社長自身がカウンセリング法を学びながら、折に触れてヒヤリングやカウンセリングを実施している			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金に沿って、従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ワークライフバランスに力を入れており、残業時間の管理徹底や、必要に応じて在宅ワークによる働き方改革に取り組んでいる ・有給休暇の取得奨励を実施し、健康増進、家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職種に必要なと思われるセミナーや講習の積極的な参加を奨励し、就業内での参加を認め、経費支援もしている				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・朝礼時に交通事故などへの注意喚起、健康チェックがされている ・社内にトレーニングジム運動機器を導入して社員が自由に使えるように設置している ・健康診断は経費補助があり、毎年受診するよう、予約・実施の登録を管理している			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇が無いようにしている ・従業員9名のうち、女性5名、と以前より増えており性別に制限のない活躍の場を推進している				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・社員配布のPC、モバイル機器は外出先から社内システムにアクセスでき、ZOOM等ビデオ会議活用により、朝礼や夕礼、資料確認などでいちいち帰社しなくても済む環境をつくった ・上記環境により残業が減り、直行直帰、在宅ワークが増えている			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・電子契約の導入を進めており業務効率化と経費削減に繋がっている ・お客様への提案時に紙のカatalog・チラシだけではなく、YouTube等の動画、メーカーや自社制作の動画を使用することでより分かりやすい説明ができている ・社員配布のPC、モバイル機器は外出先から社内システムにアクセス出来ることでいちいち帰社しなくても済み効率化に繋がっている ・当社は現代を「知的産業革命」「知産革命」の時代と捉えて商標登録し、展開商品の開発を進めている ・特性の異なる複数種類の生成AIを社員全員が使える環境を整え、各種業務に向けた専用AIエージェントを開発しながら、とくに知的生産業務の効率化、IOT用品や各種コンテンツの開発等に取り組んでいる								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					


















チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業所から排出される廃棄物は免許を持った業者と契約し、処理している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・EXCELにより自社のエネルギー使用量を把握し、削減に取り組んでいる ・LED/防熱フィルム/省電力型エアコン導入によりオフィスの節電に取り組んでいる							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・「簡易計算シート」により自社のCO2排出量を把握し、削減に取り組んでいる ・オフィスの節電に加え、エコドライブを意識するようアイドリングストップのステッカーを社用車のダッシュボードに貼っている		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に配慮した製品の提供を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる ・複合機1台を販売するとインドネシアとフィリピンにマングローブ1本を植林し、高潮や津波の被害軽減、生物保護に繋がる企画に参画している						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・こみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・リサイクルシュレッダなどエコ商品の販売・利用を推進している ・社内、お客様先でのペーパーレス化に取り組んでいる									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・トイレの貯水庫にレンガを入れたり、水道の元栓を絞ってセットしたりするなどして節水に取り組んでいる		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・リサイクルシュレッダなどエコ商品の販売推進している☑ ・再生用紙やエコ商品の利用を推進している ・社内においても再生用紙を利用している									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・取り組みの一環として太陽光発電・LED照明・省電力型エアコンを導入するなどして使用率の改善、再生エネルギーの利用・供給に取り組んでいる							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・グループで所有する山林で森林整備活動に取り組んでいる						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・提案時に製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している ・導入後に提案通りの活用ができていないか、定期的に約束事の実行、操作の理解などフォローしている ・提供するサービスの質を確保するため、ベンダーのコールセンターを活用し、顧客の意見を聞き、関係者で共有している			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・お店に陳列する商品ポップやポスターは読みやすいように大きくし、フォント、フリガナを入れるなど工夫している ・事業所においては、高齢者を配慮した手すりやスロープを設置し、来場者に優しい施設づくりに取り組んでいる									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・事業所の備品、執務机や会議テーブル等に木製品を利用するなど木質化を推進している							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・新型コロナウイルスによるテレワークの実現に向けて、PC、モバイル、Web会議ツールの情報を相談会、ウェビナーを通じて提供している ・事業継続のための新型コロナウイルス対策商材(AI体温測定システム、飛沫防止パネルなど)を積極的に販売している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域の活動(商工会議所、商店会、青年会議所、消防団、エコリサイクル分別活動、献血、警察署と協力した防犯見回り会等のボランティア活動)に積極的に参画しながら、従業員にも奨励している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している ・事業で活用する重要データを外部(他県)サーバ、クラウドに保管し、災害時でも事業が継続できるようにしている ・毎年災害訓練を実施している				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・災害時には駐車場を避難所として開放するようにしている	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・防災関連商品の販売を促進している ※複合機転倒防止キット、各種クラウド商材、避難所ベッド、毛布、保存食等多種にわたる									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・顧客に対して、ベンダーを通じてSDGsの普及啓発や情報提供を実施している ・小学生から大人までを対象とした、SDGs啓蒙のための「SDGsカードゲーム」「SDGsかるた」の作成を進めている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・地元の中学生、高校生の職場体験を積極的に受け入れている ・小学校を含む学校等と連携し、見学会や説明会を行っている				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17